

## 活動報告レポート

アドバイザー氏名	高村 裕美
実施日、時間	令和6年2月22日(木) 8:40 ~ 9:25 他
実施団体	上尾市立中央小学校5年生
対象者(人数)	80名
実施場所	上尾市立中央小学校 教室
講座等の名称	森林と私たちの生活
講座等の分野※	⑫消費生活・衣食住
活動内容及び 受講者の反応	<p>2月22日(木)1時間目2組、4時間目1組にて、社会科の課程として「森林と私たちの生活」の授業をしました。日本の森林について、日本は世界有数の森林大国であり、昔から木を生活に使ってきたこと、現在人工林の森林蓄積量が増加していること、化石燃料や海外産の安い木材に押され、国産の木が利用されなくなってきたこと、林業の担い手が減り、山が荒れて問題が起きていることなどを伝えました。また、日本の食料自給率の低さを紹介した後、チョコレートの材料であるカカオやお菓子に使われているパーム油など身近な食材が、森林減少が続いている国で生産されていることを取り上げました。児童の感想としては、「クイズなどがあって楽しかった」「昔の方が木をたくさん使っていたことにびっくりした」「広葉樹と針葉樹のちがいがわかったので見分けてみたい」「森林にはたくさんの役割があることを知った」「森林は大切なんだとわかった。特にCO<sub>2</sub>を吸収する役割がすごい」「もっともっと自然のことにふれて学びたい」「最近では木が切られなくなり、木を使うことが減っていることがわかった」「木が密集していると日光が当たるところが限られてCO<sub>2</sub>吸収量が下がってしまうと知りびっくりした」「これからは、なるべく木を使っていながら環境にやさしい物を買おうと思います」「森林も他の環境に関することも自分のできることを生活の中で考えてやりたい」「少しでも私たちにできることがあれば協力していきたい」など、興味を持って自分事として、日本や世界の森林について考え行動しようとする様子がうかがえました。</p>

# 活動写真

